

## ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立乃木小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	社会科	きょう土の伝統・文化と先人たち ～周藤弥兵衛～	「ひと」講師（周藤弥兵衛顕彰会） 「もの」意宇川 周辺遺跡等
ねらい		・意宇川の洪水を防ぐために尽力した周藤彌兵衛の学習を通して、先人の苦労や工夫を考えるとともに、郷土に対する愛着をもつ。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>本校から20分の距離にある八雲町日吉の意宇川は、古くから氾濫を繰り返してきた歴史がある。そのような水害から人々の暮らしを守るために、意宇川の切通しを行った先人「周藤弥兵衛」の働きについて、資料（年表・地図・図書資料）から読み取ったり、周藤弥兵衛顕彰会の方に講師に来ていただいて見学をしたりすることで理解を深めた。見学後には、学習したことを新聞にまとめ、交流した。先人の工夫や努力により、その後の人々の暮らしが豊かになり、現在でも地域の方が「周藤弥兵衛」への感謝の気持ちをもっていることを知った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 60%;"> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、大雨による水害が多くなり、本年度は大雨による休校もあった。意宇川を取り上げる際、そのような子ども達の身近な問題とつなげながら提示することで、より実感をもって学習問題を立てたり主体的に学習に取り組んだりする力の育成を目指した。また、周藤弥兵衛顕彰会の方と見学することで、周藤弥兵衛の功績が今でも語り継がれ、愛着をもって大切にされていることに気付けるようにした。</li> </ul> <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年の本単元で取り上げる意宇川は、5年の理科「流れる水の働きと土地の変化」でも観察に出かけるなど系統的に取り上げる「もの」である。同じ「もの」を通して学ぶことで、それぞれの知識つなげたり深めたりでき、主体的な学習につながると考えた。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所に、人々の暮らしを守るために尽力した人物がいることを知り、他にどんな人物がいるか関心をもったり、自分も人のために何かしたいという思いをもったりした。</li> </ul> <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に資料から内容を読み取ってから見学に出かけた。「なぜ切通しをしたのか」「どんな苦労や工夫があったのか」「人々の暮らしがどう変化したのか」などの学習問題を設定することで、見通しをもって課題に取り組むことができた。また、見学後には、講師に学んだことについてお礼の手紙を書き、手紙の書き方を身に付け表現力の育成につながった。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に地域の方のお話を聞けることはとても有意義だが、顕彰会の方の人数も減りつつあるようなので、今後、「ひと」をどう見つけていくかが課題である。</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>			

\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)